

第3章 基本理念等



第1節 基本理念等

■第1次計画の基本理念の継承

平成22年4月策定の第1次計画では、乳幼児から高齢者まで、全ての市民の「いだんのくらしのしあわせ」の実現を目指して次の基本理念を掲げ、地域福祉に係る各施策を展開してきました。

[基本理念]



この理念は、本市の今日のかつ普遍的な地域福祉活動の目指すべき姿を表しています。そのため、第2次計画においても、これを継承することとし、引き続きこの理念に基づいて地域福祉活動を実践していくこととします。

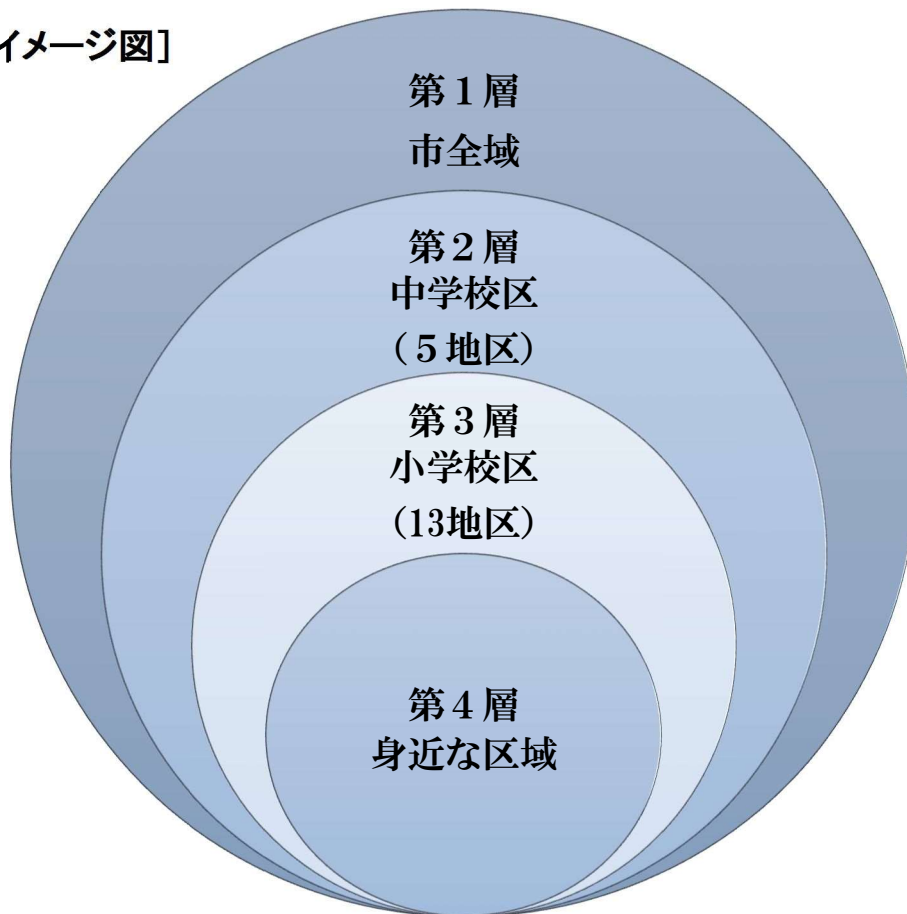
第2節 地域福祉活動の階層

左記基本理念に基づき地域福祉活動を展開するにあたっては、「市全域で進めること」と「住民に身近な地域で進めること」の二つの視点が必要です。

そこで、本市区域を次の4つの区分に階層化し、それぞれを整理しました。

本市において地域福祉を推進するにあたっては、それぞれの階層に応じた効果的な展開を図ります。

〔階層イメージ図〕



| | |
|-----|--|
| 第1層 | 市全域で均等均一の制度的福祉サービスを展開 |
| 第2層 | 地域特性に応じた地域福祉活動や、住民に身近な地域での専門的相談支援等を展開 |
| 第3層 | より地域特性に応じた地域福祉活動等を展開 (地域住民の直接参加による地域福祉活動の中心的階層) |
| 第4層 | 自治区、町内会、隣組等の区域で、ご近所同士のささえあいの基盤となる階層 |

各階層で展開する福祉サービスや地域福祉活動等の例

| | |
|-----|--|
| 第1層 | 介護保険給付、国民健康保険給付、福祉医療費助成、生活保護、生活困窮者自立支援、障がい者自立支援、児童手当その他の手当支給、健康診査 など |
| 第2層 | 地域子育て支援拠点の整備、住民に身近な地域での専門的相談支援、住民による助け合い組織（お助け隊）の活動、各地区ささえあい活動計画の策定（推進） など |
| 第3層 | ふくし井戸端会議の開催、ふくし共育の実践、にじいろサポーターの配置、地域ふれあい施設の運営 など |
| 第4層 | 民生・児童委員活動、地域サロンの運営、災害避難時の声掛け、日頃のささえあい など |

コラム ②

雑巾♡ちくちくプロジェクト

『雑巾♡ちくちくプロジェクト』とは、令和元年の豪雨災害（台風19号）に遭われた長野県等のみなさんにお届けするタオル集めをきっかけにはじまった活動です。日本福祉大学等が中心となって集めた古タオルは約2万枚。これを被災された方々の泥出し作業等に使うよう雑巾に加工しました。

水害に遭われて苦労されている方々に思いを寄せ、防災・減災について話し合いながら、地域住民のみなさんが毎日「心を込めて“ちくちく”」手縫いしてくださいました。障がいのある方々やデイサービス事業所に通所されている高齢の方々、そして子どもたちもこのプロジェクトに協力してくれました。

令和2年も九州はじめ全国各地の豪雨災害被災地に、この雑巾をお届けしています。

